

「地域とともにある学校」をめざして

下関市立向洋中学校

学校運営協議会について

◆主な協議内容

- 学校経営方針について
- 学校評価について
- 校内の綱紀保持研修の取組について
- 生徒の学校生活及び学習状況について
- 小中合同CSについて
- 地域貢献・学校支援について

特色ある活動

◆向洋中校区の取組

- 「門松づくり」のボランティア活動

ねらい：コロナ禍だからこそ、地域が一致協力して「文化の継承」を続けることで、地域のつながりを大切にする。

日 時：令和2年12月20日（日）9：30～12：30

場 所：向山小学校体育館

参加者：小学生・中学生・教職員・地域住民の総勢52人

内 容：向洋地区まちづくり協議会主催の「門松づくり」に、本校から新生徒会執行部・専門委員長・希望者の生徒15名が参加しました。日本の伝統的な行事を、地域の方に温かくご指導頂きながら、地域の一員として門松づくりに取り組みました。門松をつくっている生徒たちの顔は生き生きとしていました。生徒たちが「何かすることはありますか。」「次はなにをしたらいいですか。」と主体的に活動する姿は、とても頼もしく感じました。これも地域の方々に育てて頂いているお陰だと改めて感じた一日となりました。

完成した9つの門松は、小中学校や近隣の公共施設に寄贈されました。



↑ 作り方の説明の様子



↑ 門松づくりの様子



↑ 集合写真

来年度に向けて

今年度は5月に学校再開となり、感染症対策を図りながら手探りの活動となりました。来年度もコロナ禍ではあるが、感染症対策を講じて小中合同CSの推進や学校支援活動を充実させるとともに、CSを核とした「やまぐち型地域連携教育」の実践を図り、「学校・保護者・地域」が連携・協働して効果的な教育活動を推進します。

「がんばり」と「やさしさ」があふれる学校づくりをめざして

下関市立向山小学校

学校運営協議会について

① 実施回数

- ・向山小学校学校運営協議会 年間3回（5月、8月、2月）
※5月と2月は、書面による実施
- ・向洋中学校区小中合同学校運営協議会 年間1回（11月）
- ・ユニット型校内研修会 年間3回（6月、11月、1月）
※6月と1月は教職員のみで実施
- ・熟議 年間3回（5月、10月、2月） ※5月と2月は教職員のみで実施

② 主な協議内容

- ・学校課題の解決
- ・学力向上への取組



【校内推進委員会での熟議】

特色ある活動

◆ 向洋中学校区での合同実践

・「交わそう すてきなあいさつ レベル4」を合い言葉に小中共通取組として「朝の合同あいさつ運動」を実施しています。毎月25日を「ニコニコあいさつの日」と設定し、向洋中学校生徒会執行部の生徒たちが来校して、正門付近で本校児童と一緒にあいさつをしています。本年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止をしていますが、安心メールで保護者や地域にも発信し、すてきなあいさつの輪を広げています。

◆ 「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

・向洋校区でめざす子ども像を「ふるさと下関を愛し、夢の実現に向かって努力し続ける子」とし、身に付けさせたい力と小中学校の学習活動を一覧とした「地域連携カリキュラム」を作成しています。本年度は、梅光学院大学のゼミと連携しながら「向洋地区の特性を生かした『地域教育力向上』への取組」をテーマに活動しました。CSキャラクター「ゆうさん」のデジタル化やグッズ化を進めたり、向洋地区まちづくり協議会とも連携して地域行事の見直しを図ったりしています。児童と地域のつながりを深め、児童が地域の良さに気づき、地域に貢献しようとする態度の育成を図っています。



【CSキャラクター「ゆうさん」のデジタル化】

来年度に向けて

来年度も梅光学院大学のゼミとのタイアップが決定しています。向洋中学校や向洋地区まちづくり協議会等とも連携しながら、ゼミ生と共に、向洋地区の魅力、そして、その魅力をいかしたコミュニティ・スクールの在り方について追求することで、「ふるさとを愛する心」のさらなる育成に努めたいと思います。